



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2013~2014年度クラブテーマ
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」
Join Together with Good Challenge!

本日の例会 / 2013年 10月 11日 第1274回

卓話：「リフレはヤバイ」
慶應大学教授 小幡 繢 氏

前回報告 / 2013年 10月 4日 第1273回例会

卓話：「敗北が教えてくれること」
ビーチ文化振興協会
理事長 朝日 健太郎 氏



卓話紹介者：河邊会員

公共イメージ委員会：(ジョン会員)

10月ロータリーの友のご案内です。横組み 20 ページからシカゴ在住の John Reaekさんの「シドニー不思議な大陸」という記事があります。アメリカ人特有の的確でユーモアのセンスに満ちた文章で綴られた、このシドニーの街の紹介は、どのガイドブックよりも読み応え充分な魅力ある極上のガイドブックにも匹敵する内容です。ぜひご一読を。なお 2014 年国際ロータリー年次大会は6月1日~4日にこのシドニーで開催されるとのことです。

キッズフェスタ事務局長：(橋本年男)

キッズフェスタがいよいよ日曜日に開催されます。この行事は西澤年度のメインと成ります大切な事業であり且つ東京赤坂ロータリークラブが目指す地域社会奉仕活動と成ります。この開催に当たりましては田村幹事が周到な準備を行い地区から補助金を頂き計画の立案等を実施致しました。作業実行に当たりましては8月中旬に実行委員会を編成し組織活動を行う運びと成りました。実行委員会は基本的にクラブ会員が全員参加で臨み実務を行う事務局長は私が担当しまして皆さんの協力を得る事と致しました。皆さんの協力の基大方の準備も整い6日を迎える事と成ります、皆さんの協力に感謝申し上げます。6日当日は9時30分に現地集合です。ここで「あいぽーと」さんと合同でミーティングを行い作業に当たります。服装は準備されてる東京赤坂ロータリークラブ、オリジナルブルゾンを

東京赤坂ロータリークラブ

NO.1166 / 2013. 10.11

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

全員が着用願います、昼食はおにぎりとお茶を用意致します。当日の役割分担は既に決められた役割でお願い致しますが、運営に当たりましてはリーダーの村山さんが決められた役割で実施願います。当日の会員参加者は17名で汗を流す事になっております、参加して頂く皆さん本当に有難うございます。なお、キッズフェスタに参加頂く子供・父兄・来賓は400名を目指しますが、現時点では把握している参加者は300名ですが当日参加者が100名来て頂けるように動員活動を行ってきましたので成果を楽しみにしております。

社会奉仕委員会：(橋本サブリーダー)

10月12日~13日に芝増上寺境内で「みなと区民祭り」が開催されます。当クラブからは震災復興パネルが展示されます。今回もロータリーのブースには1,000人以上が来場されることが予想されます。来場者の皆さんには簡単なクイズを実施致します。参加される皆さんには千代田グループの7クラブから其々100点の景品が用意されています。東京赤坂ロータリークラブからは穂刈会員のご尽力で ALSOK グッズを提供頂きました。協力頂きました穂刈会員には感謝申し上げます。尚、当クラブからは9名の会員がお手伝いで参加致します。参加頂く会員には感謝申し上げます。12日のリーダーは私、橋本が13日は岩上さんがリーダーとして終日ブースに居ります。皆さんの見学をお待ちしております。



10月 4日(金) / 11件 33,000 円

累計 405,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/朝日様、本日は楽しみにしています。小原健/行事用のポロシャツをいただきました。迫力のあるシャツです。早く着用したいです。田村昭二/冷涼の風が気持ちいいです！大日方真/港区キッズフェスタ、皆で盛り上げましょう(大ニコニコ)。吉田用親/暑さ寒さも彼岸まで。素晴らしい季節になりました。村山公士/朝日様、本日の卓話楽しみにしています。土屋東一/菅沼様ニコニコご苦労様です。小林博茂/福島の風評が世界に拡がり7年後の東京オリンピック、世界中の人がテレビ観戦なんてことにならないように。河邊幸夫/朝日さん、本日の卓話よろしくお願ひします。尾関武男/みなとくキッズフェスタ、いよいよ間近になりました。成功を念願して。早川恭彦/やっと来ることが出来ました。(中ニコニコ)

出席報告：会員 37名 / 出席 23名 欠席 14名

ゲスト：朝日健太郎（卓話） 計 1名 (敬称略)

日時：2013年10月4日（金）例会後 13:40～15:00

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京 1F 「ありあけ」

出席者：尾関、西澤、田村、大日方、橋本、小林、
石井、高須、穂苅、岩上 計10名（敬称略）

〔決議事項〕

1. 2014-15年度理事役員について次の通り承認。

（敬称略）

会長ノミニー（2015-16年度会長）橋本年男、

会長 石井謙次（決定済）

幹事 小林博茂

会計 村山公士

副会長 岩上義明

理事 吉田用親、小原健、河邊幸夫、尾関武男

2. 東日本大震災「クレモナ弦楽器支援」事業ご支援のお願いについて。

東京麻布 RC 片岡氏より依頼。

内容：北イタリア、クレモナ市在住のヴィオラ奏者、国分寺市出身の矢谷明子氏を発起人にクレモナ市を拠点としたイタリア弦楽器製作者有志、イタリア国立クレモナ弦楽器制作会社などの協力のもの、クレモナ地区 RC、市民有志、ミラノ日本領事館など関係機関の支援により、弦楽器を無償で寄贈する支援活動を立ち上げる。被災地の方々に対し必要とされる弦楽器を速やかに提供することを根幹としているが、楽器の補修や運搬の支援が必要。日本サイドのスタッフが少ないため行き届かず、ロータリークラブのネットワークを使いご協力いただきたいとのこと。弦楽器は原則的に永久貸与である。今回は、楽器修復等の費用として30万円をクラブより拠出して欲しいとのこと。楽器運搬については麻布 RC で行うとのこと。結果：協力することとするが、赤坂 RC だけではなく、千代田グループの他クラブへ協力を要請し、1クラブ10万円程度の予算で協力する方向ですめたい。

3. 11月卓話予定は次の通りとする。

11/1 「どうなる日本経済」 公益社団法人日本経済研究センター研究本部主任研究員 愛宕伸康氏
(紹介者：島本幸治)

11/8 齊藤治彦氏イニシエーションスピーチ

12/6 石井達氏イニシエーションスピーチ予定

1/10 能 武田文志氏（紹介者：西澤民夫）

4. みなとくキッズフェスタについて

10/6に控え、ほぼ準備が整い当日を迎えるだけとなつた。皆様のご協力に感謝。当日もよろしくお願いしたい。（橋本事務局長より）

5. 12/20 忘年家族会について

小林親睦活動委員長より。アトラクション、担当者については親睦活動で決めているため、一任してほしいとのこと。一任することを承認。

以上

2013-14年度

国際ロータリー会長

ロン D.バートン氏

（『ロータリーの友』10月号）



ロータリーで10月は、私たちの奉仕の第二部門である職業奉仕を思い出すための月です。ロータリアンの中には忘れられた領域の奉仕と呼ぶ人もいますが、私はそうは思いません。実際、職業奉仕は頻繁に行う奉仕部門であるために、私たちはそれが奉仕だとは常に意識していないのです。

自らの職業を高潔なものにする

職業奉仕は「ロータリーの目的」の第2の項目をルースに置いて、すべてのロータリアンに、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとすることを、奨励しています。

つまり、職業奉仕の考え方というのは、私たちの仕事は社会に奉仕する一つの手段だということです。顧客へのサービスであろうと、学生の指導であろうと、患者の治療であろうと、また、商売、研究、メディアなどどんな分野であろうと、私たちは能力と高潔さをもって行う自らの仕事に誇りを持っています。それぞれの職業がニーズを満たし、自分たちの務めを遂行することで、私たちは地域や社会に貢献しているのです。

多様性はロータリーの強み

いつも目立つというわけではありませんが、クラブにおける職業奉仕の役割は重要です。個々に高い倫理基準を保持することで、私たち全体で共有できる信望を得ます。すべての職業を平等に評価し、クラブ中の職業分類の制度を保つことによって、クラブが地域社会を反映するのを確実にし、地域社会に十分な奉仕ができるようになるのです。全会員が弁護士のロータリークラブでは、教師、エンジニア、経営者、歯科医などの会員からなるクラブの力に遠く及ばないでしょう。ロータリーでは多様性が私たちの強みなのです。この多様性は私たちの奉仕にとってだけではなく、会員にも利点があります。仕事上役に立つ、つながりや機会を見つける貴重な手段を与えてくれるのです。

会員のそのような側面は、ロータリーの誕生した時に生まれました。私も同感ですが、ポール・ハリス自身は、ロータリアンであることとはその人と仕事を一緒にできそうな、ある価値観を持っているという信念を持って、ロータリーの会員であることのビジネスにおける利点について、しばしば書いています。

世界が今までになく結びついている今日、ロータリーの会員であることは、共有できるのを誇りに思うべき栄誉なことなのです。